

令和4年度第2次補正  
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

# 探究的な学び支援 補助金2023

## 効果報告レポート

【事業者名】

**株式会社With The World**

【サービス名称】

**学び・交流を止めない「教育」、  
「オンライン×国際交流 世界各地の同年代と育  
む異文化理解と一緒に考えるSDGs」**

【サービスの機能分類】

**区分A-1 メインサービス**

2024年1月



  
With The World

## ツールの特徴(他の製品との違い)

### ICT活用 学校・自宅どこからでもアクセス可能！

海外校と**オンラインで繋がり**、**英語**を使って**現地の人と交流**します。

インターネット環境のある学校または生徒自宅より1人1台の機材（パソコン・タブレットなど）で参加します。



授業は日本4~6名、海外2~5名で構成される**少人数グループ**で**進行**するため、  
しっかりと生徒一人ひとりに発言の機会があります。

- 国内の小・中学校・高校から大学までと海外の学校を**同年代同士オンライン**でつなぎ、**社会課題**について**議論するアクティブラーニング授業**を実施。
- **世界67カ国356校の連携校**を持ち、日本では114校で授業を実施、日本校の探究テーマや授業の回数、頻度、進行スケジュール等、日本校の要望に応えることが可能。
- 国際交流授業中に生じる言語障害は弊社スタッフがシステム上でサポートを行い、児童・生徒の言語レベル・成長度に合わせて進行业務を調整ができる。
- 年間単位で2カ国の同世代と一緒に身近な社会課題を考え、最後は児童・生徒が取りまとめた**実装モデル**を**世界数10カ国以上の中高校生が募る世界大会**で発表し、その後にある海外生徒との意見交換やフィードバック等を通して**多角的な視点で思考を深め、課題解決力を磨くプログラム**である。

### 活用場面

- 外国語
- 総合的な探究(学習)の時間
- 情報
- 技術・家庭科
- 専門高校等において、「情報Ⅰ、Ⅱ」の代替等として実施される科目 等



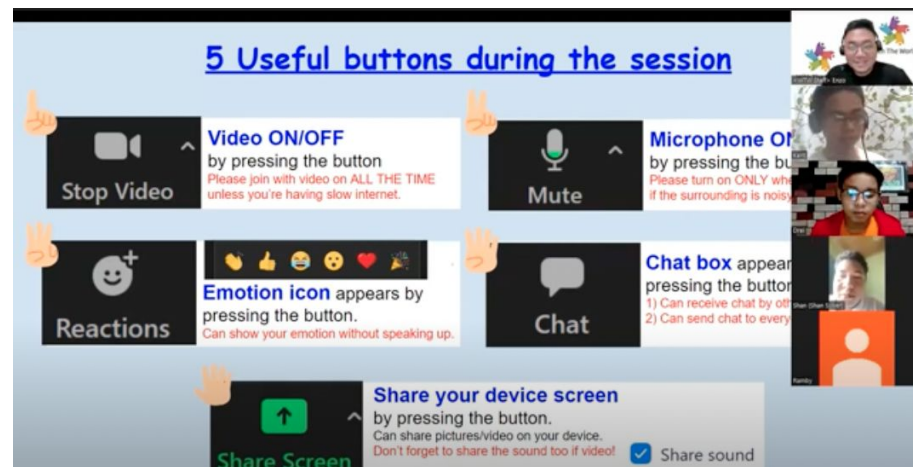
### ①丁寧な事前サポート



ワークシート  
 サンプル

営業部(3名)、教育部(4名)による連携で丁寧なサポートを実施。事前には授業内容に合わせたワークシートや目標設定アンケートを配布。また日本生とのZOOMオリエンテーションを実施し通信やZOOM操作の確認をした。事後には英語表現とZOOM操作のマニュアルを共有した。学校の担当教員との事前打ち合わせを2回以上実施。

### ②海外校とのコーディネート



海外事業部(日本人2名、外国人6名)による連携で、授業内容や学校のプログラム実施時間帯に合わせ、海外校の選定～調整、海外生の指導までを包括的に実施した。弊社外国人スタッフのサポートのもと、海外生が円滑に授業に参加できるようにオリエンテーションを実施した。

### ③事後報告会の開催



授業アンケートや授業観察を用い、国際交流授業を通じた児童・生徒の成長をまとめた「学びのレポート」を作成し、担当教員と振り返り打ち合わせを実施した。今後の授業の展開に関するアドバイスや意見交換を行った。

※こちらのサポートは通常サービスの一環として行っているものと同様である。

## 1. 学習指導要領改訂への対応

学習指導要領の改訂により、以前に増して「主体的・対話的で深い学び」の重要性が掲げられる中においても、学校現場では、テストや受験等に向けた指導が主になることが多く、**児童・生徒が主体的に探究を進めるための「アクティブラーニング」や「探究活動」を推進していくことは難しい**とされている。また、探究活動においては、決まった進め方や答えがない中で、学校や自治体ごとに独自で探究活動を設定し準備から運営までを行うため、**現場の教員への負担も多く、特に同活動で期待される「校内外での調査活動」等においては、調整から多くの時間や労力を費やさなければならないことも問題**となっている。

## 2. 時間と手間のかかる国際交流授業のコーディネート

国際交流授業を実施する際には、海外校の選定やプログラム作成、海外校との英語での連携等、**多くの時間と工程を要する**。従って、教員の負担が多く、国際交流の実施を検討していても、中々実施に漕ぎ着けることは難しい。また、海外校との調整の中で多額の仲介料等を請求されることもあり、学校として実施する際には**費用面でも多くの課題**が残っている。

## 3. ICTリテラシーを育むためのタブレット端末等の活用

ギガスクール構想において、児童・生徒1人に1台の端末が与えられているが、その活用方法は学校により様々であり、地域や学校によってはICTを用いた授業に慣れていない場合も見られる。授業内では、画面共有やプリントの共有等、教材に代わるものとしての使用の傾向が多く、**ICT機材を使用し、より学びの幅を広げ、児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促進させるためには、より一層の工夫が必要**となる。



## 小学校(関西)

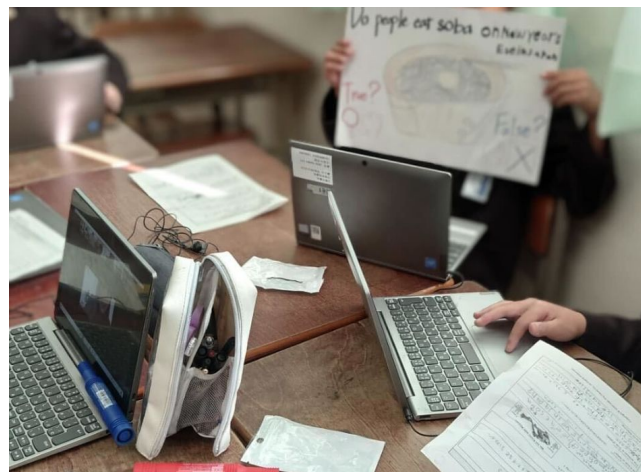
### 【課題】

一人1台タブレット端末を使用したオンライン国際交流の実施により、ICTスキルの向上と異文化理解を促すこと。

対象児童	5年生98名
実施日	12月4日 9:40~11:25
交流国	ベトナム・フィリピン
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介(好きな食べ物)</li> <li>・アイスブレイクゲーム「共通点探し」</li> <li>・国クイズ「食文化、食事のマナー」</li> <li>・質問コーナー</li> </ul>

### 【成果】

複数回の事前オリエンテーションの実施により、当日は一人1台タブレット端末を使用し、オンライン国際交流を実施できた。教室内では大型モニターが活用され、児童の学びの様子を担当する教員が確認することができた。3学期の継続実施も決定している。



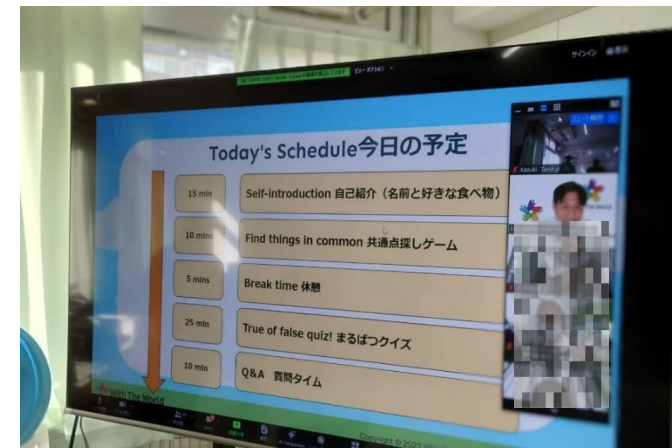
プレゼンテーションの様子



海外生の様子



プログラム中の児童の様子



弊社による説明

大型モニター活用事例

## 中学校(関西)

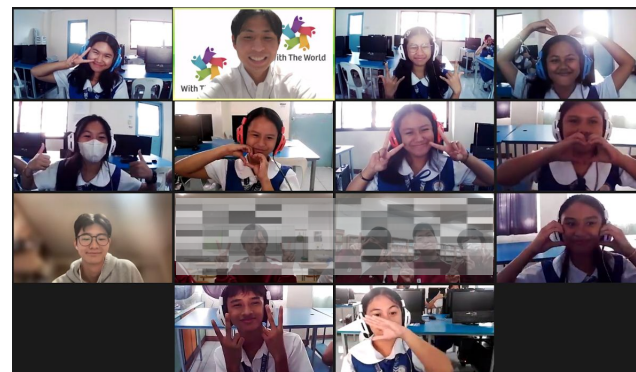
### 【課題】

今年5月にオンライン国際交流を実施した生徒たちへ継続して国際交流の機会を提供すること。生徒有志で実施している探究学習の一環として調査活動を実施したい。

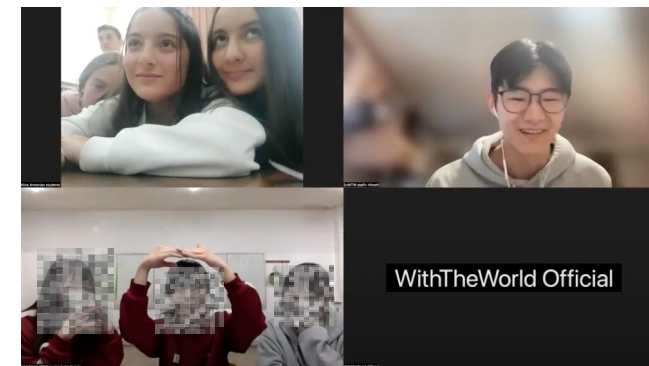
対象児童	7名
実施日	12月12日 16:00-17:00
交流国	フィリピン・アルメニア・ナイジェリア
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・アイスブレイク「お題のものを見せて」</li> <li>・アクティビティ「共通点探し」</li> <li>・インタビュー「私の国はこうだけど、あなたの国は？」</li> </ul>

### 【成果】

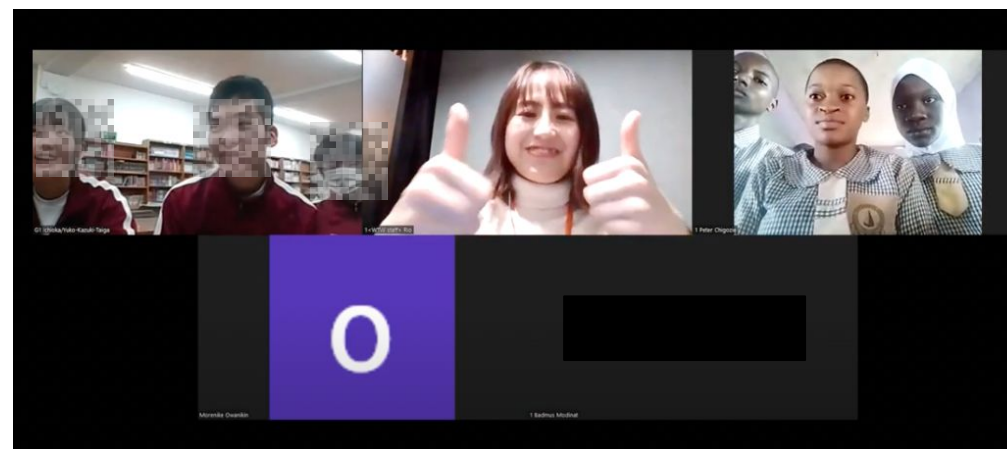
課外活動として放課後に、希望生徒が参加して実施した。泉南市の提携都市であるダバオ市の生徒に加え、アルメニア・ナイジェリアの生徒が参加したことにより、アジア圏だけでなく、より幅広い視野で世界について学ぶことができた。



フィリピン生との交流の様子



アルメニア生徒の交流の様子



ナイジェリア生徒の交流の様子

プログラム中の生徒の様子



## 高等学校(関西)

### 【課題】

生徒が選定した探究学習のテーマについて、海外生と意見交換をさせること。トレンドと地震をテーマにしているグループがあり、同世代かつ特に地震を経験した国と繋がり交流がしたい。

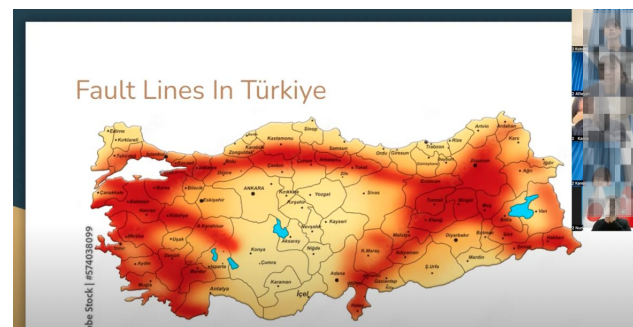
対象児童	1年生15名
実施日	12月6日 13:15-14:45
交流国	トルコ
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・アイスブレイクゲーム「記憶ゲーム」</li> <li>・探究テーマについての発表</li> <li>・インタビュー</li> </ul>

### 【成果】

探究のテーマについて、日本の現状をプレゼンテーションし、今年大地震を経験したトルコ生からもプレゼンテーションを通して現状と学んだ。また、異文化理解の側面においても、初めてトルコと交流ができたことで、ステレオタイプのイメージを払拭し、真のトルコの姿の一部に触れることができた。

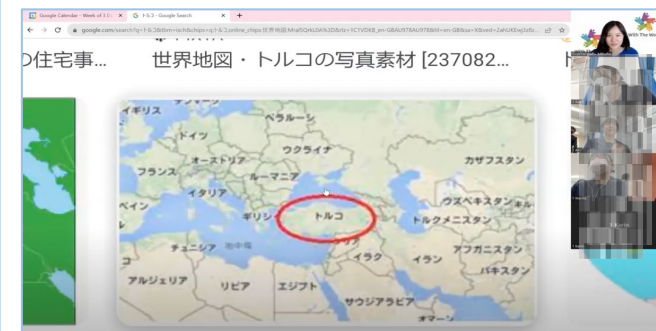
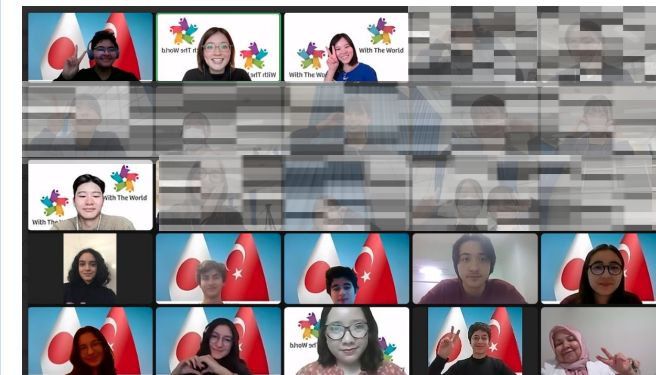


神戸山手女子高等学校のプレゼンテーションでは、阪神淡路大震災等について発表。



トルコの生徒からは、トルコの地震の現状や地震への備えについて発表があった。

探究学習のプレゼンテーションの様子(地震)



その他授業中の様子

①本事業においてサービスを導入した学校等設置者数

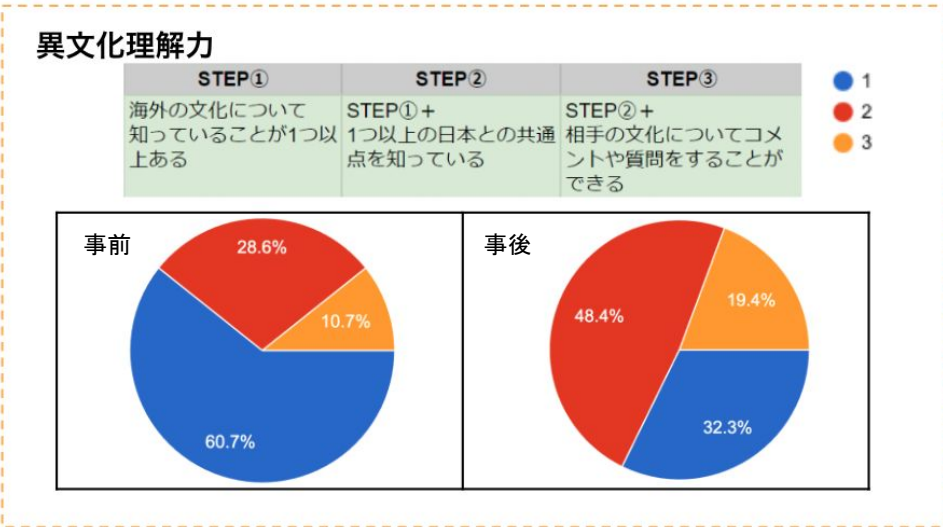
学校等設置者等	参加数
学校法人	4
市教育委員会	6
県教育委員会	4

②本事業においてサービスを導入した学校種ごとの学校等教育機関数

校種	実施校数	参加者数	公立/私立	地域
小学校	3	192	公立:3校	関西
中学校	3	206	私立:1校/公立:2校	関東・関西
高等学校	15	751	私立:3校/公立:15校	東北・関東・関西・中国・九州

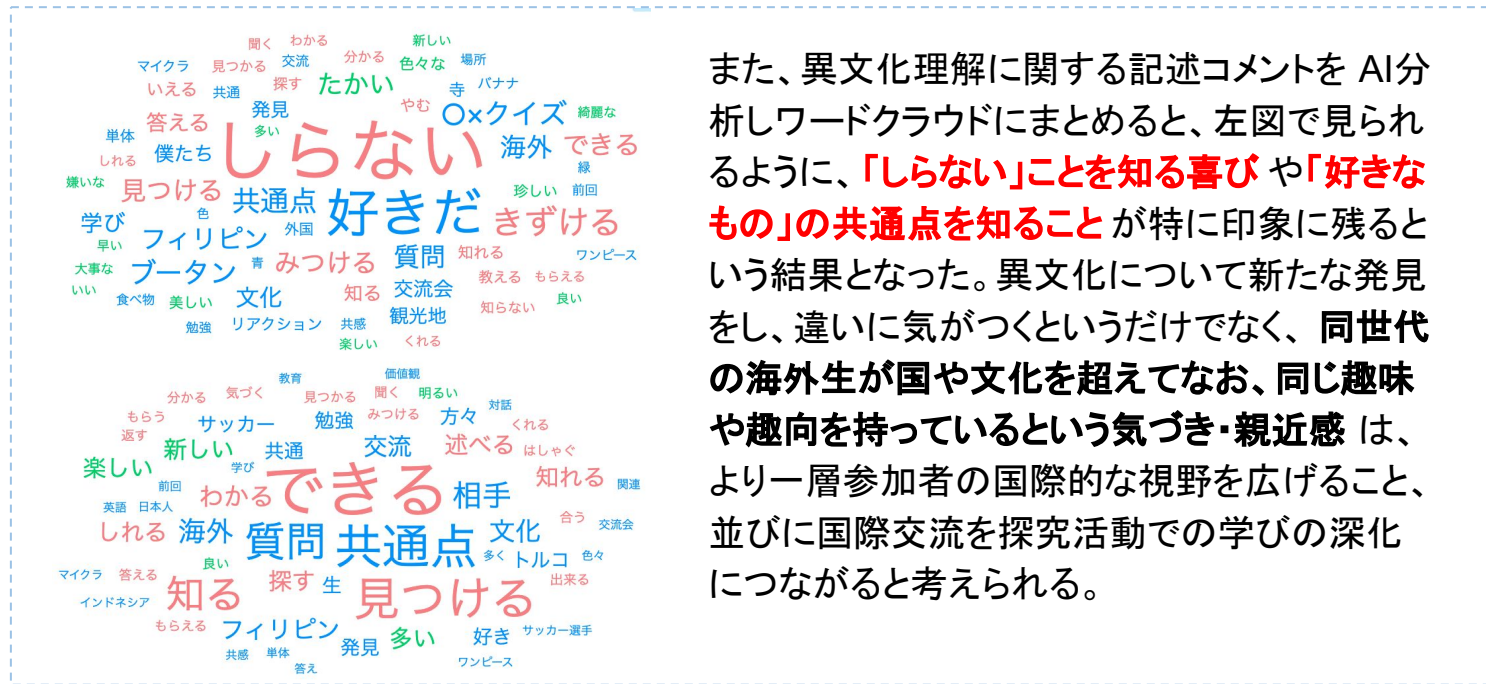
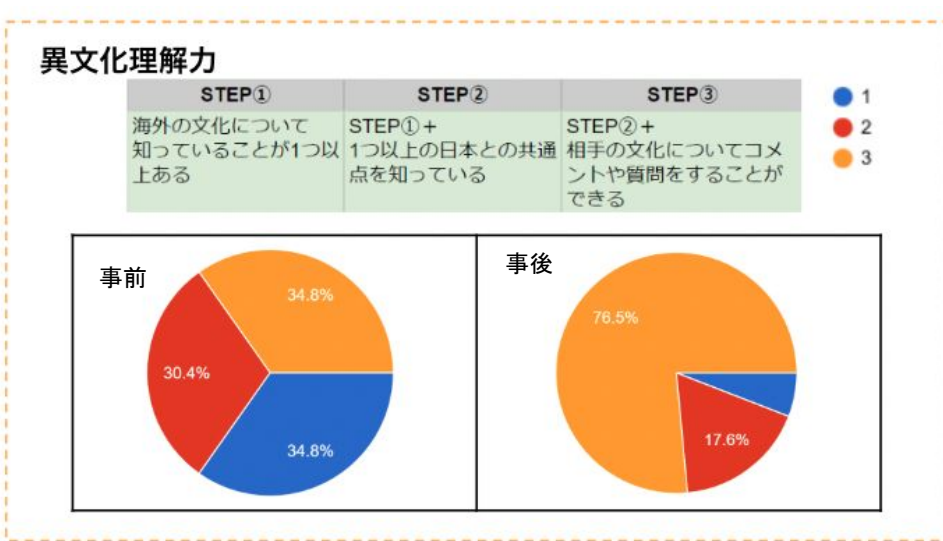


図1 回答数28



本事業の中で**最も向上が見られたのが異文化理解力**である。左図1に示される通り、交流した海外生や彼らの国のことを学び、違いを知るといふことにとどまらず、**互いの共通点を見つける**ことができた。加えて、左図2に見られるようにさらに上位段階として、異文化の相違点・共通点を理解した上で、気になることについて**自発的にコメントができた**という数も大幅に情報した。具体的には、「質問することができたこと」や「自分のコメントについて共感してもらえた」という、英語を活用してコミュニケーションを図ることで得られた達成感・成功体験が参加者のモチベーションを向上させ、一層主体的に活動に参加したことが新たな発見（異文化の違いや共通点の理解）へ繋がった。

図2 回答数16



また、異文化理解に関する記述コメントを AI 分析しワードクラウドにまとめると、左図で見られるように、「**知らない**」ことを知る喜びや「**好きなもの**」の共通点を知ることが特に印象に残るといふ結果となった。異文化について新たな発見をし、違いに気がつくというだけでなく、**同世代の海外生が国や文化を超えてなお、同じ趣味や趣向を持っているという気づき・親近感**は、より一層参加者の国際的な視野を広げること、並びに国際交流を探究活動での学びの深化につながると考えられる。

## 生徒の学び方や教職員の働き方に及ぼした変化

### ①ICT利用について

弊社オンライン国際交流は全てオンライン上で実施されるため、探究の内容の深化のみに留まらず、**授業内でのICTの活用の促進**も成果の一つとして挙げられる。ZOOMの操作や資料の作成方法について、事前にオリエンテーションを実施したことにより、児童・生徒・教員共にオンライン国際交流当日は授業に円滑に参加することができた。弊社担当者によるオリエンテーション実施により、教員においては **ICTの使用について指導する負担を減少** させることが可能であった。

### ②事前事後のサポート体制について

前日のオリエンテーションでは、「探究学習のポイント」についても弊社スタッフより指導を実施し、**児童・生徒のテーマ設定やプレゼンテーション作成等の質をより一層高める**ことに繋がった。弊社より提供した事前ワークシートや評価フォームを活用することにより、**教員の教材研究時間を削減**でき、**児童・生徒へのより密な指導に時間を費やすことが可能**になった。また、弊社より事後報告レポートを提供することにより、**児童・生徒の学びの成果や傾向が可視化**されたことで、次年度計画作成の参考資料として活用することができた。

### ③プログラム構成や調整業務について

事前の教員との密な打ち合わせにより、**学校での活動の状況に則したプログラム内容を弊社から提案する**ことができ、様々な場面でのオンライン国際交流プログラムの活用が見られた(探究学習のまとめ・中間報告・調査活動等)。また、海外校との調整においても、アジア圏や英語圏の生徒のみならず、アフリカやヨーロッパ圏の生徒と交流を実施できたことで、児童・生徒の視野の広がりのもとより、**時間と工数のかかる海外校との調整に関わる教員の負担を削減**することができた。

### ④アシスタントスタッフについて

オンライン国際交流実施当日に児童・生徒の学びをサポートするアシスタントスタッフの補助により、**児童・生徒の英語の習熟度により生じる理解度や発話数減少の問題を解決**することができた。また、社会問題等のディスカッションが容易では無いテーマを取り扱う場合においても、アシスタントスタッフのファシリテーションにより、**英語のサポート並びに、内容理解をより一層促すこと**ができた。多数の児童・生徒が参加する場合は、1人の教員では届きにくいことも考えられるが、今回オンライン国際交流では児童・生徒一人一人に手厚いサポートができたと言える。

## ■サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

### ①総合的な探究の時間における効果の検証

#### 【課題】

本オンライン国際交流を通し、児童・生徒は ICT利用・異文化理解(受容)の面で大きく成長し、普段学校現場では実施が難しいとされる学習指導要領に即した「調査活動」を学校に居ながら、オンラインでカバーすることができた。今回は 1回～2回程度のプログラム実施のため、継続的に弊社プログラムを実施することによる、知識や探究の深まりを実証し、総合的な探究の時間における国際交流プログラムの優位性やその効果について検証していく必要がある。

#### 【改善策】

今年度実施の学校や自治体との連携を密にし、次年度以降の実施を目指す。その際に、初年度となる今年度のプログラムで得られた成果に基づき、より詳細な分析研究を実施する。

### ②多くの学校現場への展開

#### 【課題】

事前事後のサポートや当日の運営、調整業務等を弊社で担っているが、プログラム日程調整や事前準備等、担当教員への依頼も少なくない。学校行事や授業時間等で、年間及び日毎のスケジュールの制約が多い中で、より多くの学校でオンライン国際交流授業を展開するために、担当教員の負担を減らしながら導入ができるよう、弊社のサポート体制をより一層強化していく必要がある。

#### 【改善策】

担当教員との連携を密に図るとともに、適切な準備期間を設定すると共に、準備授業の実施方法やプログラム実施までの流れを動画やマニュアルを用い、より円滑に行うことができるよう準備を進め、関わる教員との打ち合わせも学校の状況に合わせ可能な限り実施する。

### ③財源確保の課題

#### 【課題】

オンライン国際交流授業の導入に際し、公立学校の場合、予算が各市町村教育委員会により決定されることにより財源確保が課題と言える。市町村内の学校全域に導入を検討するにあたり、今回の導入で実証された効果を浸透させると共に、導入校の選定や実施内容等についても各教育委員会と連携を図ることが必要である。

#### 【改善策】

前述の通り今年度実施の学校や自治体との連携を密にし、報告会の実施や次年度に向けた実施計画を調整する。



## ■サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

## 児童・生徒の感想

- インドの人と初めて関わってみて、英語のなまりも全然違うし、それでもお互いを理解しようとし合っていくことが大事だということを感じました。お互い母国語が違うのに関わっているのってめちゃ素敵なことだし、そういう経験をこれからも積んでいきたい。
- 自分の意見と海外生の意見を比較して、より良いものにできるのが私たち国際科のほかにはできないことだと思うので、いろいろな情報をインターネットや本から以上に生の声で聴ける国際交流がとても魅力的だった。
- 人生で初めて台湾人の子達と交流できてとても嬉しかったし、台湾の子達のプレゼンテーションを通してこれからの生活に活かしていきたいと思う部分たくさんありました！！そしてアシスタントの方がとても親切に優しく対応してくださって、困ったときにはすぐに助けてくれたり常に私たちを見守ってくださいました。今回学んだことを家族や友達にも伝えたいです！！
- 海外の、そして同年代の子達と意見を交換し合うからこそ、新しい発見や新たな課題解決の能力が、親近感を持ちながら楽しく発展していくし、互いの国の親近感も湧くと感じました。

## 担当教員の感想

- アシスタントの方が日本語と英語を上手に使い分けてくださり、必要に応じて発表する生徒を指名してくださったため、どの生徒たちも話す機会を得られた。また、名前や単語の発音など、丁寧に確認していただき、伝える工夫をしていただけた。トルコの生徒さんと先生方は友好的で、本校生徒は、初めは緊張していたが、終了後はもっと訊きたかったと話していた。
- 自分たちよりも英語力も、トピックも高度な相手と話すことができ、貴重な経験だったと思います。また、当日サポートしてくださった方々も生徒のニーズに合わせてサポートしてくださったので、生徒もより頑張ることができたと思います。思っていたより自分が内容を理解できていることも分かったという生徒もおりました。サポートのおかげで充実したレッスンになったのだと感じております。
- 生徒は初めてのオンライン交流だったので、アシスタントの方々のサポートがあり大変心強かったです。生徒たちからは「楽しかった」「またやりたい」等の声が聞こえてきました。
- 1年間通して共生というテーマでできるきっかけになったので本当によかった。子供達が大きく羽ばたいてくれた。「平和についてできること」も有形無形の大きな話になったら嫌だなと思っていたが、身近な平和、ダバオの子供達との考え方の良い違いを知る良い機会だった。

## ■会社概要 ● 貴社の会社概要を記載してください。

**商号**: 株式会社With The World

**設立**: 2018年4月2日

**資本金**: 18,000,000円

**事業内容**:

＜オンライン＞問題解決型国際交流協働プログラム(SDGs & 異文化理解)

＜事前事後研修＞海外/国内渡航前 探究学習(探究型修学旅行)

＜海外/国内実地研修＞オンライン×実地研修で探究を深める SDGsフィールドワーク研修

**許可番号**: 兵庫県知事登録旅行業第3-827号

**本社所在地**:

〒650-0035

兵庫県神戸市中央区浪花町56 三井住友銀行神戸本部ビル2階起業プラザひょうご内

URL: <https://withtheworld.co/> Tel:078-600-2294